

平成21年度 第2回 思春期問題シンポジウム

思春期に向き合えない若者たち ～大人たちが今できることを考える～

昨今、職場や地域、そして家族の中でさえ人間関係をうまく築けず、孤立してしまう若者が増えています。それは彼らが、本来であれば、他者と交流しながら自分自身を確立していくはずの思春期と向き合えなかったからではないか—すなわちティーンエイジャーの時期に友人や家族、教師や地域の大人たちと衝突・葛藤し、そして共感・共鳴しながら成長していく共同体験を経てこなかったからではないかとも言われています。このシンポジウムでは、なぜ、思春期と向き合えない若者が増えているのかを考え、彼らのために大人たちが、今、できることを探ります。

3月11日(木)

14:00～16:30

参加費無料

◎基調講演「つながる」が苦手な若者たちへの処方箋 ～大人たちが今できることを考える～

講師：岩室 紳也氏

(公益社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長 医師)

◎パネルディスカッション

【コーディネーター】岩室 紳也氏

【パネリスト】阿部 敏子氏 (神奈川県警察本部生活安全部青少年育成課少年相談・保護センター副所長)

梶澤 一彦氏 (横浜市立戸塚高等学校 定時制教員)

林田 育美氏 (都筑多文化・青少年交流プラザ館長)

水澤 都加佐氏 (特定非営利活動法人 アスク副代表、ヒーリング&

リカバリーインスティテュート水澤都加佐カウンセリングオフィス所長)

対象者 保護者、青少年育成に関わる方など

定員 200名 (先着順)

場所 関内ホール 小ホール (中区住吉町4-42-1)

(JR関内駅北口から徒歩6分、横浜市営地下鉄関内駅9番出口から徒歩3分、みなとみらい線馬車道5番出口から徒歩5分)

参加方法 下記、必要事項とシンポジウム参加希望を明記の上、FAX：045-663-1926 またはメール(kd-ikusei@city.yokohama.jp)で事前申込み
必要事項・氏名(ふりがな込み)・連絡先・住所(市区町村まで)・職業・年代

(連絡先) 横浜市こども青少年局青少年育成課 TEL：045-671-2325

(主催) 横浜市こども青少年局青少年育成課

(共催) 横浜市健康福祉局こころの健康相談センター、横浜市教育委員会

※取材対応 当日、受付で職員にお声掛けください。

平成21年度 第2回 思春期問題シンポジウム

思春期に向き合えない若者たち

～大人たちが今できることを考える～

開催日
3月
11日
木曜日



昨今、職場や地域、そして家族の中でさえ人間関係をうまく築けず、孤立してしまう若者が増えています。それは彼らが、本来であれば、他者と交流しながら自分自身を確立していくはずの思春期と向き合えなかったからではないか—すなわちティーンエイジャーの時期に友人や家族、教師や地域の大人たちと衝突・葛藤し、そして共感・共鳴しながら成長していく共同体験を経てこなかったからではないかとも言われています。このシンポジウムでは、なぜ、思春期と向き合えない若者が増えているのかを考え、彼らのために大人たちが、今、できることを探ります。

日時会場

- ▶ 日時 平成22年3月11日(木) 14時～16時30分(開場13時30分)
- ▶ 会場 関内ホール 小ホール(中区住吉町4-42-1)
- ▶ 対象者 保護者、青少年育成に関わる方など
- ▶ 参加費 無料
- ▶ 定員 200名

お申し込みはこちら

- 「シンポジウム参加希望」と明記の上
- 氏名(ふりがな込み) ■連絡先 ■住所(市、区) ■職業 ■年代を記載して、Eメールまたはファックスで、横浜市子ども青少年局青少年育成課までお申し込みください

Eメールでお申し込みの場合
kd-ikusei@city.yokohama.jp

FAXでお申し込みの場合
FAX 045-663-1926

関内ホールへのアクセス JR関内駅北口から徒歩6分。横浜市営地下鉄関内駅9番出口から徒歩3分。みなとみらい線馬車道駅5番出口から徒歩4分



上記所在位置は、あくまでも目安です。正確な場所につきましては関内ホールTEL.662-1221へお問い合わせください。

プログラム内容

基調講演

「つながる」が苦手な若者たちへの処方箋
～大人たちが今できることを考える～

講師:岩室紳也 公益社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロ
(いわむろしんや) モーション研究センター センター長 医師

エイズ予防や性教育の普及啓発に取り組んできた公衆衛生医師。その活動は、各種マスコミだけでなく少年マガジンにも取り上げられた。近年は、横浜市の思春期問題連絡会や次世代育成協議会にも委員として関わり、性教育という視点からだけでなく、今の時代の青少年の抱える課題について幅広く考え、発言している。

この基調講演では、インターネットの普及など社会の変化と若者のコミュニケーション力の希薄化について、豊富な実証データに基づいて解き明かす。

■パネルディスカッション コーディネーター:岩室紳也 パネリスト(50音順)

阿部敏子(あべとしこ)
(神奈川県警察本部生活安全部青少年育成課少年相談・保護センター副所長)
少年の非行問題や犯罪被害の問題の立ち直りを支援する少年相談員の立場から取り組む。

栢澤一彦(かばさわかずひこ)
(横浜市立戸塚高等学校 定時制教員)
困難を抱える若者の教育や職業選択の問題に定時制高校の教師という立場で取り組む。

林田育美(はやしだいくみ)
(都筑多文化・青少年交流プラザ館長)
地域での青少年の居場所づくりを通じて若者に社会・共同体験の場や機会を提供している。

水澤都加佐(みずさわつかさ)
(特定非営利活動法人アスク副代表、
ヒーリング&リカバリーインスティテュート水澤都加佐カウンセリングオフィス所長)
アルコール・薬物依存の若者と家族の関係にカウンセラーの立場から取り組む。

■質疑応答

